産業報國運動に對する各方面の動向

産業報國運動に對する各國體方面の關心と協力氣運は益々昂まり、中央本部たる聯盟の生命を縫として、その動きは漸々活潑せんとするの狀勢である が、こゝに各方面の動向並それに關する若干の資料を紹介し參考に供したい。

京濱大工業地區に産業報國研究會開催さる

産業報國運動展開の端緒たりし時局對策委員會に於いては京濱地在大工場の有力なる勞務課長諸氏の參畫協力を得た所であつたが、更に運動の其間化に伴ひ、同地區關係有志の招待にて運動進捗狀況を報告する機會を得たことはまことに感謝に耐えない事であつた。

即ち京濱地區工場關係者の大部分を網羅して組織されてゐる京濱産業勞働調査會に於ては、早くより産業報國運動に深き關心と贊意を表し、各々自主的に種々運動の發展に寄與せられつゝあつたが、七月の例會は「産業報國研究會」として開催、縣當局並びに協調會を招待してその進捗狀況を聽取し種々懇談研究を行つた。當日の會議の狀況は次の通り。

京濱産業勞働調査會第三十七回産業報國研究會出席者芳名
(昭和十三年七月十四日)
於日本鋼管株式會社

來賓

協調會産業務理事町田辰次郎氏、縣特高勞働係長佐藤芳光氏、同第一係長菊地德治氏、同第二係長堀内常氏

會社、工場

昭和肥料株式會社櫻崎富譯氏、三菱石油川崎製油所荒木勉氏、同外一名、高橋組鐵工場渡邊染芳之氏、富士紡平塚工場、宗伏三男氏、淺野セメント川崎工場加藤文治氏、日本桂木利喜男氏、日本鋼管株式會社林慶藏治氏、同桂木利喜男氏、日本鋼管株式會社蕨工場小倉英義氏、同藤沼忠重氏、芝浦製作所和田隆造氏、同藤沼忠重氏、芝浦製作所和田隆造氏、化工機製作株式會社三鳥健吉氏、東海鋼管株式會社入松久太郎氏、東京製鐵川崎工場貝塚氏、東京日本鋼管株式會社清水時一氏、東京自動車工業會社田坂政榮氏、同關藤固氏、昭和電線株式會社橋本幸太郎氏、東京電氣平野篤二氏、日本電氣株式會社鶴見工場渋谷氏、同伊東公義氏、日立製作所塚工場鼎頭榮氏、東洋電機製造會社鶴見工場鈴木三郎氏、昭和産業鶴見工場鶴見工場鈴木三郎氏、日本鋼管株式會社清水弘志氏、同關藤固氏、昭和電線株式會社橋本幸太郎氏、東京電氣平野篤二氏、日本電氣株式會社鶴見工場渋谷氏、同伊東公義氏、日立製作所塚工場鼎頭榮氏、東洋電機製造會社鶴見工場鈴木三郎氏、昭和産業鶴見工場鶴見工場鈴木三郎氏、日本鋼管株式會社